

Learning Assessment in Higher Education: Educational Practices on Critical Thinking and Creativity in the United States and Japan

高等教育における学修評価：アメリカと日本における批判的思考力と創造力の教育実践

高等教育における学修評価は現代社会において喫緊の課題となっており、我が国の高等教育のビジョン「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」にも「個々人の学修の達成状況の可視化」が課題として提示されています。経済協力開発機構（OECD）は、高等教育で生み出すべきスキルの領域を、これまでの専門的なスキルに加え、批判的思考力、創造力、自信、情熱、リーダーシップ等の態度や社会的なスキルであるとし、2019年に「高等教育における学生の創造的で批判的な思考のスキル」プロジェクトを12カ国の高等教育機関とともに立ち上げました。上智大学と国際基督教大学は、2018年5月に締結した「連携及び協力に関する包括協定」に基づき、同プロジェクトに協同で参加し、環境教育の分野で試験的に評価を実施しています。本シンポジウムでは、全米大学協会（Association of American Colleges and Universities）の学修評価ルブリックの作成に深く携わってきたMark Nicholas氏による基調講演、及び両大学のプロジェクト実施者による発表を通して、批判的思考力と創造力に関する学修評価の現状、課題、展望について議論します。なお、本シンポジウムは文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」補助金の支援を受けて実施します。

13：30 基調講演



Dr. Mark Nicholas
Executive Director, Institutional Assessment, Framingham State University

米国フランingham州立大学で組織評価・認定を担当。2006年より全米大学協会においてリベラルアーツの目標を実施・評価するための数々のタスクフォースに参画。研究分野は高等教育における学修過程と成果としての批判的思考力で、専門分野に加えファカルティ・ディベロップメント、高等教育におけるアカウンタビリティと評価、研究手法、学術プログラムの検討・サイメント・デザイン等、幅広い分野での著書、論文がある。

13：00 開会挨拶

浬道 佳明 上智大学学長

13：15 OECDプロジェクトの概要

西村 幹子 国際基督教大学教養学部アーツ・サイエンス学科教授

14：45 大学の取組

小松 太郎 上智大学グローバル教育センター長
上智大学総合人間学科学部教育学科教授

杉浦 未希子 上智大学グローバル教育センター准教授

布柴 達男 国際基督教大学教養学部アーツ・サイエンス学科教授

藤沼 良典 国際基督教大学教養学部アーツ・サイエンス学科准教授

15：45 パネルディスカッション&全体討論

[モデレーター]

西村 幹子 国際基督教大学教養学部アーツ・サイエンス学科教授

[登壇者]

Mark Nicholas 小松 太郎 杉浦 未希子 布柴 達男 藤沼 良典

16：50 閉会挨拶

日比谷 潤子 国際基督教大学学長

司会

杉村 美紀 上智大学グローバル化推進担当副学長

【開催日】2020年1月25日（土）

【場所】上智大学四谷キャンパス 10号館講堂

【対象】大学生、大学院生、教職員、一般

【使用言語】英語（同時通訳あり）

【申込方法】事前登録制：以下のURLまたはQRコードより申込み

(URL)<https://eipro.jp/sophia/events/view/SGU200125>



1/25

Saturday, January 25

土

13:00~17:00

(開場：12：30)

10号館 講堂

Building No.10 Auditorium



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY



お問い合わせ：
上智大学総務局
TEL：03-3238-4256